

科目コード/科目名 (Course Code / Course Title)	抽選登録/映像メディア論 (Broadcasting & Film)		
テーマ/サブタイトル等 (Theme / Subtitle)	テレビドキュメンタリーから見える社会		
担当者名 (Instructor)	石井 彰(ISHII AKIRA)		
学期 (Semester)	秋学期(Fall Semester)	単位 (Credit)	2単位(2 Credits)
科目ナンバリング (Course Number)	CMS3210	言語 (Language)	日本語 (Japanese)
備考 (Notes)	他学部生用(人数制限: 50名) 社会学部生は科目コード登録にて申し込むこと		

授業の目標(Course Objectives)

社会の実像を描き出している、優れたテレビドキュメンタリーを視聴して、現在の社会がどのようになっているのか、どのようにしていけばいいのか、これから社会でどのように働いていくのかを考察して、表現していく。

Students will watch outstanding TV documentaries that depict society's reality. Students will analyze and express their views on optimal modern society and appropriate future direction.

授業の内容(Course Contents)

東京ではなかなか見ることが出来ない、地方テレビ局が制作したドキュメンタリー番組を毎週視聴して、その感想を書くことでより考察を深めるだけでなく、自らの観察力や表現力を修得していく。

Each week, students will watch documentaries produced by regional TV stations, which are not easily accessible in Tokyo. Students will deepen their analyses by writing their views, while acquiring observation and expression skills.

授業計画(Course Schedule)

1. イントロダクション 授業の目的や進め方、成績評価の基準などについて説明
2. 働くことの意味 1 大企業での過労死
3. 働くことの意味 2 中小企業が熱中するコマ大会
4. 働くことの意味 3 零細企業の廃業と再出発
5. 働くことの意味 4 山奥で暮らすニートたち
6. 働くことの意味 5 外国人技能実習生の現在
7. 学ぶことの意味 奨学金を考える、ヤングケアラーの存在
8. 戦争を知る 1
9. 戦争を知る 2
10. 原子力発電を考える 1
11. 原子力発電を考える 2
12. テレビ報道の現在 1
13. テレビ報道とコロナウイルス感染症
14. 最終授業レポート 授業のまとめ

授業時間外(予習・復習等)の学習(Study Required Outside of Class)

- 1 毎日全国一般紙を読み、社会の現実を見つめる力をつけていく。
- 2 テレビで放送されているドキュメンタリー番組を見て、何がどのように描かれているのか比較検討して、番組を見る力をつけていく。

成績評価方法・基準(Evaluation)

最終レポート(Final Report)(30%)/毎回の授業後のレポート(42%)/授業への参加(28%)

テキスト(Textbooks)

なし

参考文献(Readings)

1. 石井彰ほか、2010年、『日本のドキュメンタリー第4巻』、岩波書店
2. 石井彰ほか、2015年、『ラジオは真実を報道出来るか』、岩波書店

その他(HP等)(Others(e.g.HP))

